

株式会社ニツカトー
2023年3月期(第2Q)
決算説明資料

1. 中長期的な戦略について
2. 2023年3月期(第2Q)業績概要
3. 2023年3月期業績予想
4. 事業トピックス

1. 中長期的な戦略について
2. 2023年3月期(第2Q)業績概要
3. 2023年3月期業績予想
4. 事業トピックス

ニッカトーは、創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて科学技術と産業の発展に寄与し、企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献する。

中期経営計画について

- 当社の存在意義である、「**独自素材の提供を通じて、脱炭素社会の実現に貢献する**」べく、持続的に成長し、社会的課題の解決に取り組み続けられる経営基盤の再構築期間と位置付け
- 2025年度を新たなスタートとして、中長期の持続的成長に繋げていくために中期経営計画「**CONNECT 25**」を策定



「CONNECT 25」のコンセプト

- 経営基盤の再構築を、【QUALITY】・【ENVIRONMENT】・【MANAGEMENT】の3つの成長ドライバーをテーマに実施
- 当社と事業の持続的成長によって、脱炭素社会の実現・社会的課題の解決に貢献し、時代に必要とされる“Reliable Company”を目指す

「CONNECT 25」における目標

持続的に成長し、社会的課題解決へ
貢献していけるだけの経営基盤の再構築

存在意義の確立

経済的価値・社会的価値の創出を通じた
自社の持続的成長【GROWTH】の達成と、
脱炭素社会実現への貢献

経営ビジョンの達成

“Reliable Company”

—時代に必要とされる企業だけが成長する—

達成のための3つの成長ドライバー

【QUALITY】

市場ニーズに応える製品・
技術の追求

- これまで築いてきた競争優位性を元に、変化する市場ニーズに応えられる製品開発を推進
- 素材・性能・品質・コスト面において、さらなる付加価値向上・差別化を追求

【ENVIRONMENT】

環境負荷軽減のための
技術開発

- 製品製造時の温室効果ガス削減・エネルギー利用減少を実現する、製造プロセス改善を推進
- 当社の製品により、顧客の生産工程における環境負荷の軽減に繋がる製品・技術開発を強化

【MANAGEMENT】

事業ポートフォリオの
再構築

- 全事業・製品を4つのステージ(重点・強化・再構築・再編)に分類定義
- 市場ニーズに応えるべく、競争力のある重点・強化事業には経営リソースを集中投下
再構築・再編事業は高付加価値化による収益性改善を図る

サステナビリティ課題への取組方針

ESGの主要テーマ

関連する主なSDGs

当社の取組方針 ～CONNECT25の3つの取組テーマ～

具体的な取組

E Environment

脱炭素社会の実現 気候変動・温暖化対策



ENVIRONMENT

環境負荷低減のための技術開発
 - 製品製造時の環境負荷低減
 - 生産工程の環境負荷低減

- ・設備導入・生産改善を通じたエネルギー利用効率化・GHG排出量削減
- ・工業排水の循環利用技術の開発
- ・不良品、使用済品のリサイクル・リユース体制の構築
- ・クリーンエネルギー対応製品の開発

サプライチェーン における信頼構築



QUALITY

市場ニーズに応える製品・技術の追求

- ・製品・技術知識の向上、顧客ニーズ深堀の強化
- ・産学連携による環境技術開発・ビジネス創造
- ・調達リスク低減、品質保証体制強化による製品供給の安定化

S Social

雇用と人材育成 知財開発・管理体制



QUALITY

- 人材採用・育成、評価方法の見直し
 - 100年の歴史で培われてきた職人技術・ノウハウの継承
 - 知財専門人材の登用・育成、知財管理強化

- ・職人保有の知見・技術のシステム化、データ活用に基づく人材育成
- ・脱年功序列、若手・女性幹部登用推進
- ・求める人材の再定義と採用人材の質の向上、研修の拡充・再整備
- ・産学連携・共同開発の強化推進

地域社会の発展と共生



- 地域雇用の創出
 - 工場周辺地域への配慮

- ・地域社会における雇用創出
- ・周辺地域への配慮、安全確保の推進

G Governance

コーポレートガバナンス体制の強化



MANAGEMENT

コーポレートガバナンス・コードへの対応
 最適な事業ポートフォリオの構築

- ・ステークホルダーへの情報開示体制の強化、エンゲージメント向上の推進
- ・経営リソースの配分見直しと収益性改善

計数目標及び進捗状況

- EV車・5G関連製品を始めとする成長産業での需要増加を確実に捉え、**過去最高水準の売上高100億円**を達成
- セラミックス製品の差別化・競争優位性の追求により収益性を改善、**営業利益率10%超**へ到達し、営業利益も過去最高益創出を図る

百万円	2020年度 実績	2021年度 目標	2021年度 実績	2022年度 修正前目標	2022年度 修正後目標	2023年度 目標	2024年度 目標	増減 2020年度比
売上高 (前期比)	8,655	9,500 (+845)	9,979 (+1,324)	10,000 (+21)	10,500 (+521)	10,200 (+200)	10,800 (+600)	+2,145
営業利益 (%)	363 (4.2%)	900 (9.5%)	972 (9.7%)	700 (7.0%)	1,000 (9.5%)	1,030 (10.1%)	1,200 (11.1%)	+837 (+6.9%)
経常利益 (%)	440 (5.1%)	920 (9.7%)	1,028 (10.3%)	720 (7.2%)	1,040 (9.9%)	1,050 (10.3%)	1,200 (11.1%)	+760 (+6.0%)
当期純利益 (%)	275 (3.2%)	630 (6.6%)	672 (6.7%)	500 (5.0%)	720 (6.9%)	720 (7.1%)	820 (7.6%)	+545 (+4.4%)
ROE	2.5%	5.0%	5.8%	4.3%	6.1%	6.2%	7%達成 (8%目標)	+4.5%

- エネルギー及び原材料の急激な高騰に伴い、生産効率の改善や販売価格への転嫁等々、今後足元の状況踏まえ様々な取組みを推し進め、採算改善に努めます。
- 2023年度以降につきましては、今後の経済状況や市場環境を踏まえ検討するものとし、計画を据え置きます。

※2023年3月期の通期予想を修正しております。詳しくは2022年11月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

計数目標 —セグメント別業績目標—

百万円	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 修正前目標	2022年度 修正後目標	2023年度 目標	2024年度 目標	増減
セラミックス事業							
売上高	6,601	7,620	7,600 → 8,100	8,000	8,000	8,400	+1,799
営業利益 (%)	336 (5.1%)	892 (11.7%)	650 (8.6%) → 910 (11.2%)	970 (12.1%)	970 (12.1%)	1,130 (13.5%)	+794 (+8.4%)
エンジニアリング事業							
売上高	2,053	2,358	2,400 → 2,400	2,200	2,200	2,400	+347
営業利益 (%)	27 (1.3%)	80 (3.4%)	50 (2.1%) → 90 (3.8%)	60 (2.7%)	60 (2.7%)	70 (2.9%)	+43 (+1.6%)

✓ **セラミックス事業:**

- 成長が見込まれる先端技術産業※の需要拡大に対応し、製品付加価値向上を通じた収益性改善を推進
(※ EV車・5G関連部品に必須かつ、今後一層の需要増加が見込まれるMLCC(積層セラミックコンデンサ)や、EV車への搭載に向けて開発・実用化が進められている全固体電池 等)

✓ **エンジニアリング事業:**

- これまで事業独立した動きとなっていた営業活動から、**セラミックス事業との一体営業・ニーズ発掘を推進し、先端技術製品の研究開発におけるニーズ取り込みを強化**

1. 中長期的な戦略について
2. 2023年3月期(第2Q)業績概要
3. 2023年3月期業績予想
4. 事業トピックス

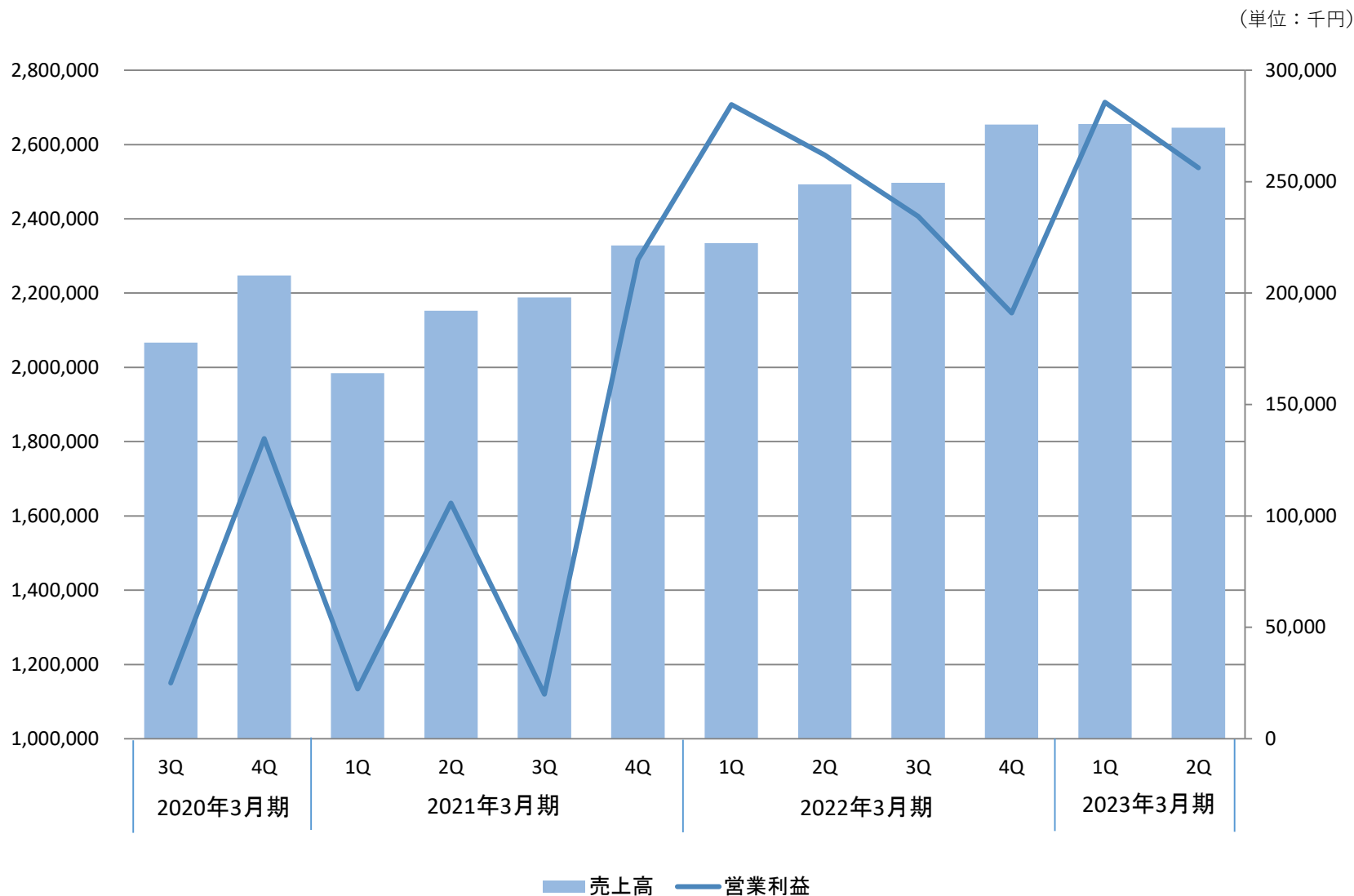
経営成績の概要

	2022年3月期2Q		2023年3月期2Q		対前年		対通期予算	
	実額	売上比	実額	売上比	増減額	増減率	予算	達成率
売上高	4,827,655		5,300,906		473,250	9.8%	10,500,000	50.5%
売上原価	3,633,447	75.3%	4,021,577	75.9%	388,130	10.7%	8,000,000	50.3%
販売費及び一般管理費	647,654	13.4%	737,436	13.9%	89,782	13.9%	1,500,000	49.2%
営業利益	546,554	11.3%	541,892	10.2%	-4,662	-0.9%	1,000,000	54.2%
経常利益	571,621	11.8%	571,854	10.8%	233	0.0%	1,040,000	55.0%
当期純利益	394,047	8.2%	396,178	7.5%	2,131	0.5%	720,000	55.0%
研究開発費	105,676	2.2%	109,674	2.1%	3,998	3.8%	-	-
EPS(円)	33.01	-	33.19	-	0.18	-	-	-
ROA(%)	4.9	-	4.8	-	-0.1	-	-	-
ROE(%)	6.8	-	6.7	-	-0.1	-	-	-

※ROA・ROEの数値は第2四半期の実績数値を通期換算して計算しております。

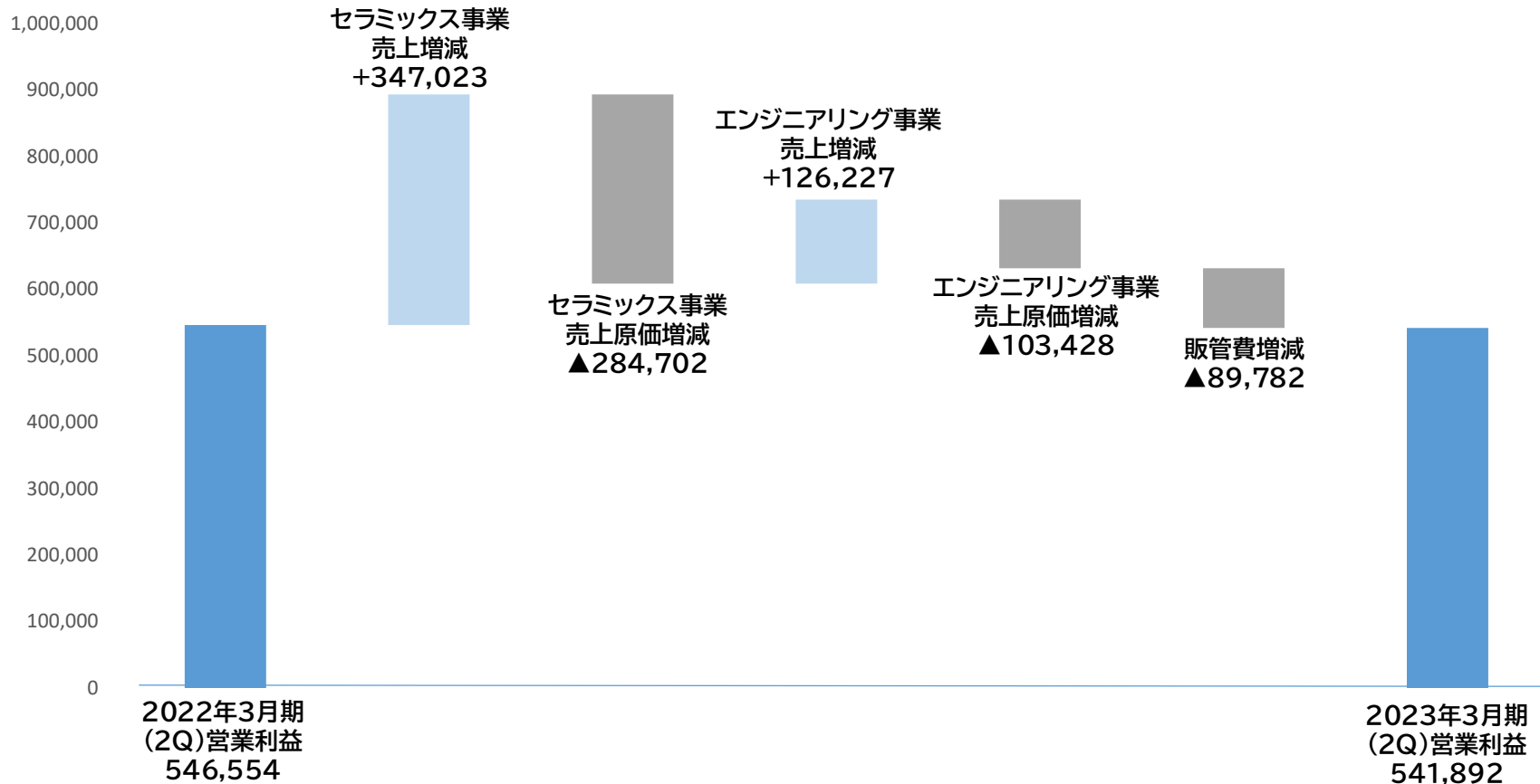
2023年3月期の通期予想を修正しております。詳しくは2022年11月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

売上高・営業利益推移(四半期毎)



営業利益増減要因

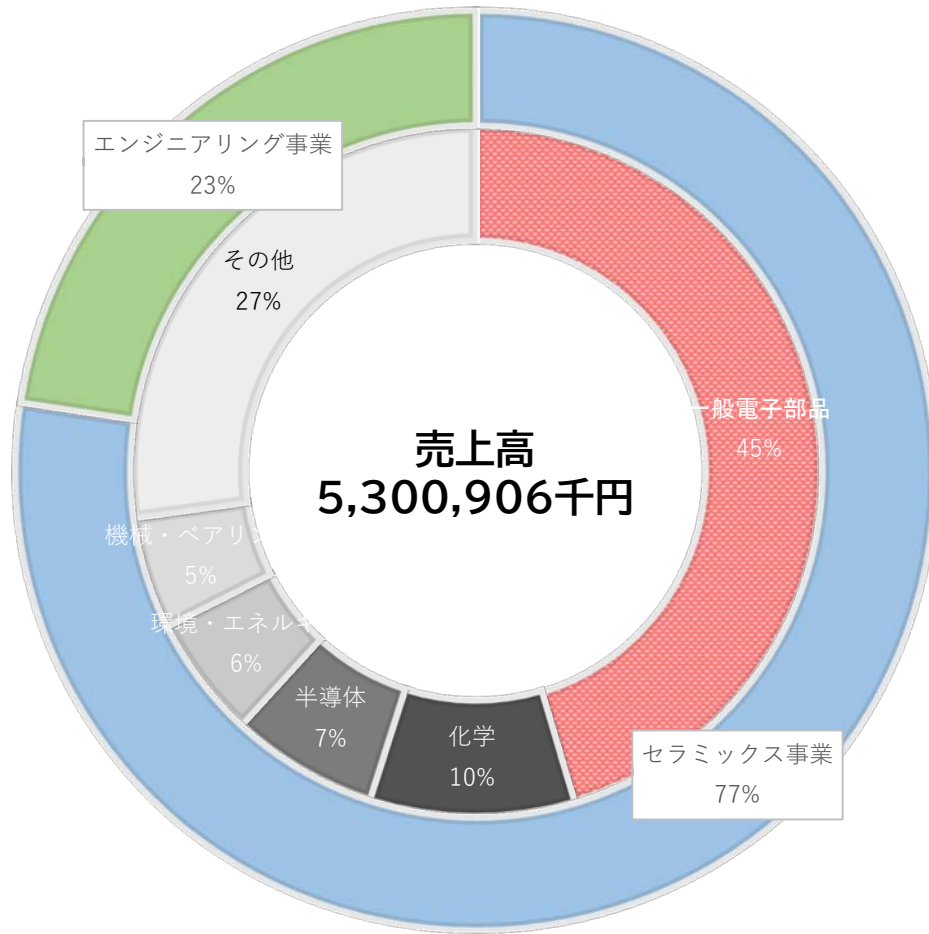
(単位：千円)



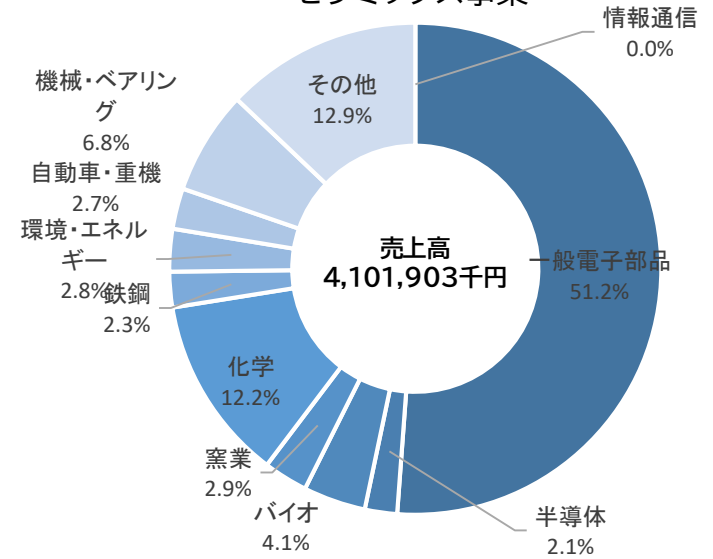
- ✓ ウクライナ情勢の悪化・長期化を受けて、エネルギーおよび原材料価格の高騰や影響の長期化や世界的なインフレ加速が懸念される中、セラミックス事業・エンジニアリング事業ともに増収となるも、セラミックス事業の原材料高騰の影響が大きく、増収及び生産効率改善では吸収しきれず前年同期比0.9%の減益となる。

マーケット別構成比

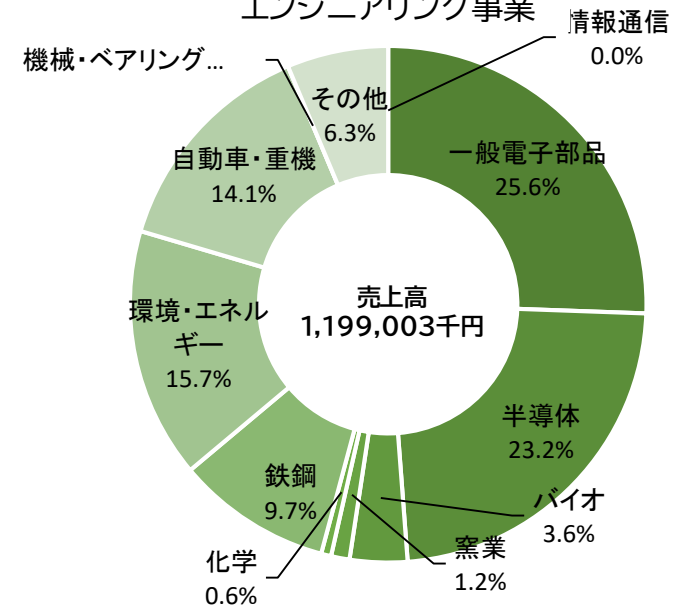
全社



セラミックス事業



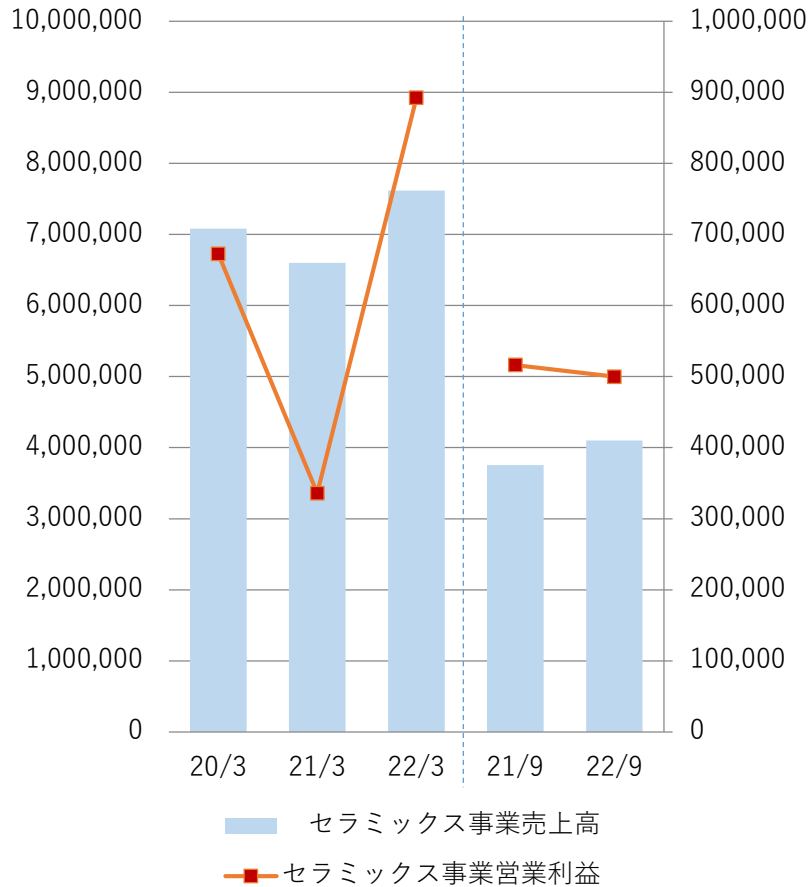
エンジニアリング事業



セグメント別業績推移

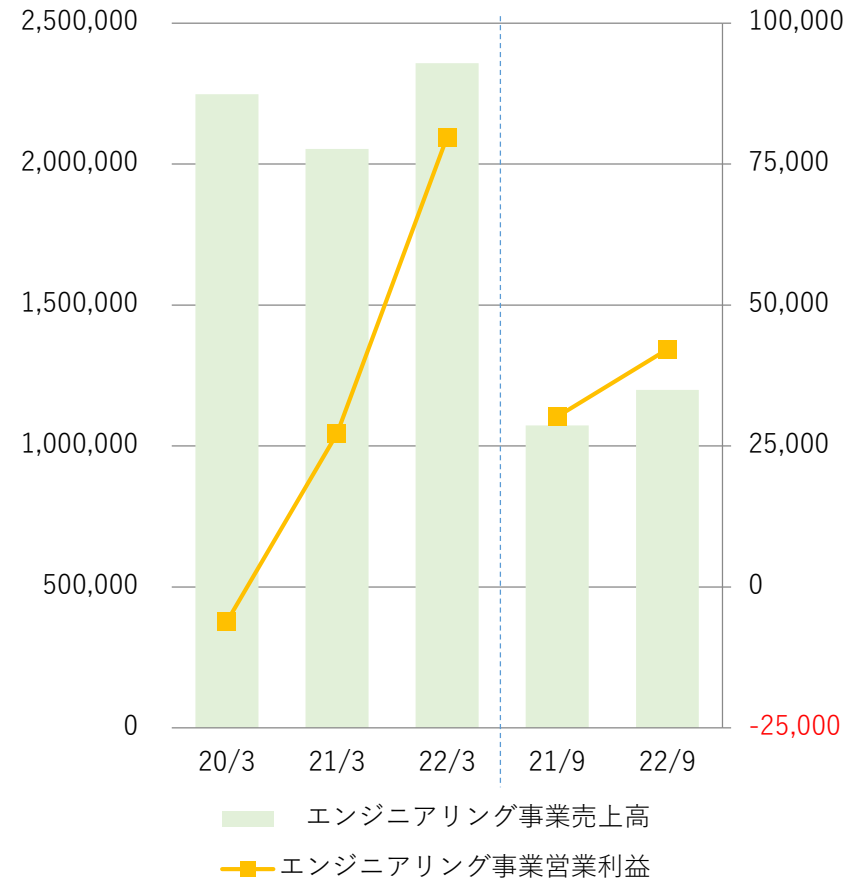
【セラミックス事業】

(単位：千円)

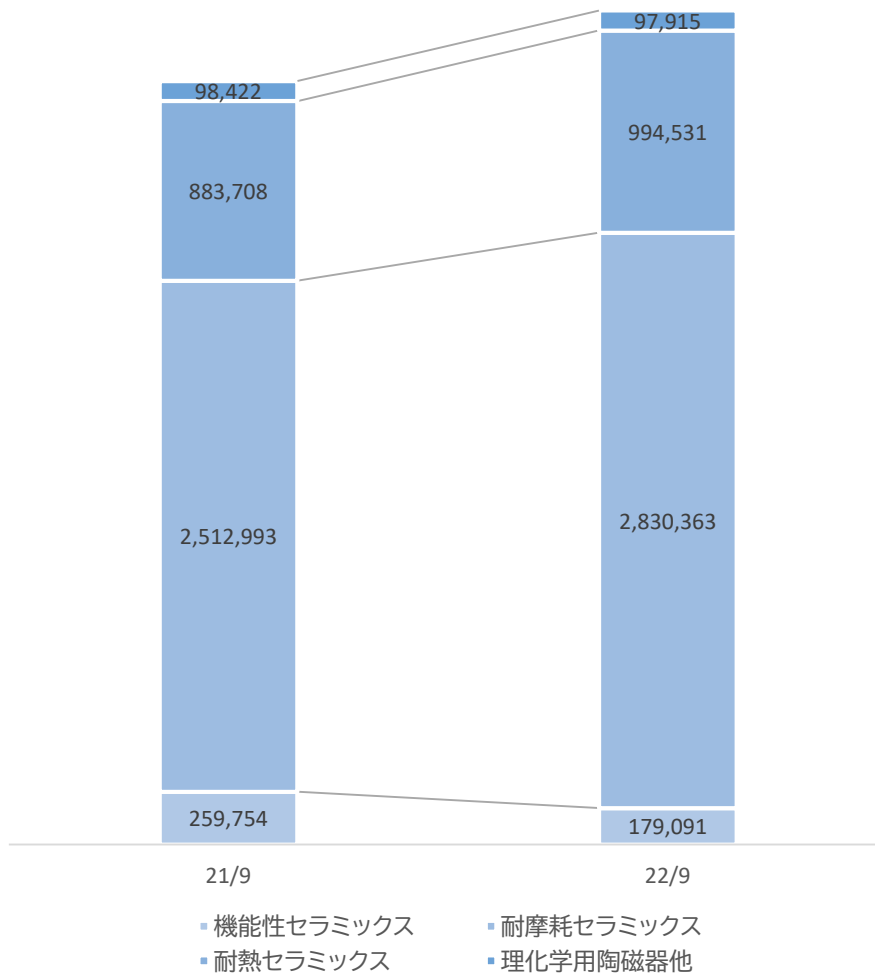


【エンジニアリング事業】

(単位：千円)



(単位：千円)

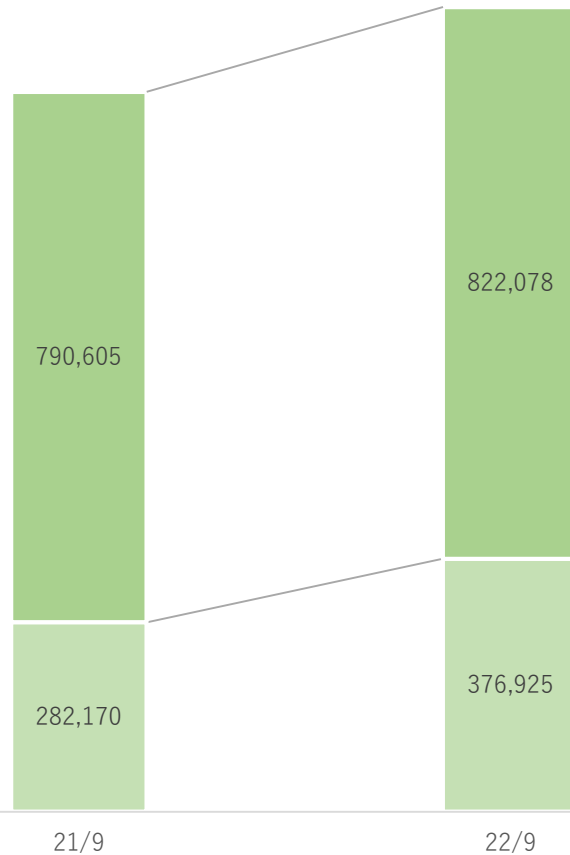


・引き続き不安定な情勢にあり、ウクライナ危機の長期化や米中摩擦の悪化、世界的なインフレ懸念等今後も予断は許さない状況。

・主力の電子部品業界は好調を維持。受注状況は引き続き順調に推移。

・原材料等価格の高騰による影響を受け、製造原価率は悪化。販売価格への転嫁も徐々に浸透。

(単位：千円)



■ 加熱装置 ■ 計測機器・同システム

・半導体・自動車関係の活況を受け、計測機器・加熱装置ともに増収となる。

・利益率の高い加熱装置の増収効果が大きく、セグメント利益も増益となる。

・更なる営業効率の追求・利益率の改善に注力。

貸借対照表

(単位：千円)	22/3末	22/9末	増減率
流動資産	9,606,685	9,981,368	3.9%
現金預金	3,357,885	3,333,636	△ 0.7%
売掛債権	3,458,294	3,644,436	5.4%
棚卸資産	2,754,251	2,971,323	7.9%
その他	36,253	31,972	△ 11.8%
固定資産	6,927,044	6,621,352	△ 4.4%
有形固定資産	4,858,727	4,728,278	△ 2.7%
無形固定資産	189,198	170,445	△ 9.9%
投資その他	1,879,119	1,722,628	△ 8.3%
資産合計	16,533,730	16,602,720	0.4%

・流動資産
 売掛債権 増収により増加
 棚卸資産 原料・仕掛品が受注増により増加

・固定資産
 有形固定資産 減価償却により減少
 投資その他 投資有価証券評価減により減少

	22/3末	22/9末	増減率
流動負債	3,668,272	3,709,391	1.1%
買掛債務	1,959,486	2,119,849	8.2%
短期借入金	656,892	637,892	△ 2.9%
その他	1,051,894	951,650	△ 9.5%
固定負債	1,078,997	934,207	△ 13.4%
長期借入金	756,128	642,432	△ 15.0%
その他	322,869	291,775	△ 9.6%
純資産	11,786,460	11,959,121	1.5%
株主資本	11,258,802	11,511,755	2.2%
評価・差額等	527,657	447,365	△ 15.2%
負債・純資産合計	16,533,730	16,602,720	0.4%

・流動負債
 買掛債務 増収に伴う仕入増により増加

・固定負債
 長期借入金 長期借入金の返済により減少

・純資産
 評価・差額等 投資有価証券評価減により減少

キャッシュフロー計算書

(単位：千円)	21/9末	22/9末	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	611,219	365,615	△ 245,604
税引前当期純利益	571,372	571,482	110
減価償却費	331,871	305,954	△ 25,917
棚卸資産の増減額	82,550	△ 217,071	△ 299,622
その他	△ 374,575	△ 294,750	79,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 356,366	△ 113,056	243,309
有形固定資産の取得	△ 356,271	△ 108,931	247,339
その他	△ 94	△ 4,125	△ 4,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 184,905	△ 276,806	△ 91,901
配当金の支払額	△ 59,878	△ 143,359	△ 83,480
その他	△ 125,026	△ 133,446	△ 8,420
現金等の増減額	69,948	△ 24,248	△ 94,196
現金等の期末残高	2,746,420	3,333,636	587,216

- ・営業CF
棚卸資産の増減額
受注増加に伴い在庫が増加
- その他
増益に伴う法人税等支払額の増加
- ・投資CF
有形固定資産の取得
主にセラミックス事業生産設備
の新設および更新
- ・財務CF
配当金の支払額
配当金5円⇒12円

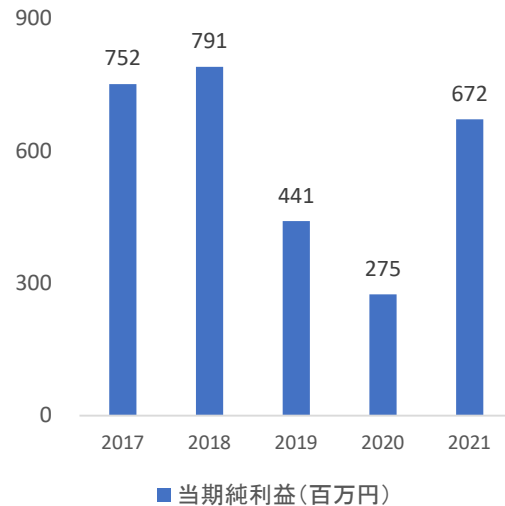
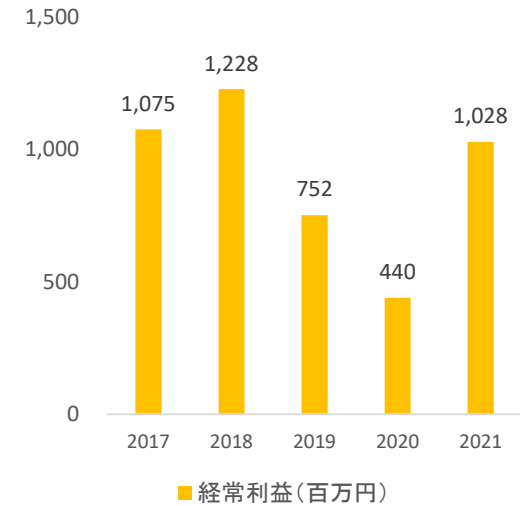
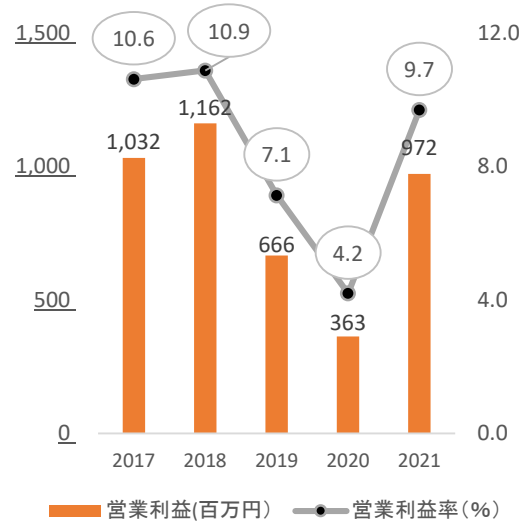
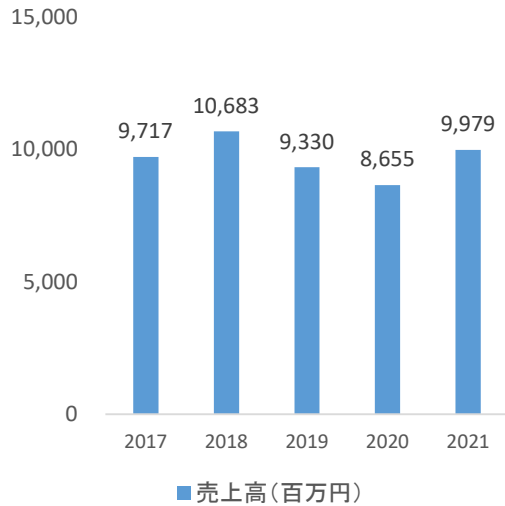
1. 中長期的な戦略について
2. 2023年3月期(2Q)業績概要
3. 2023年3月期業績予想
4. 事業トピックス

2023年3月期業績予想

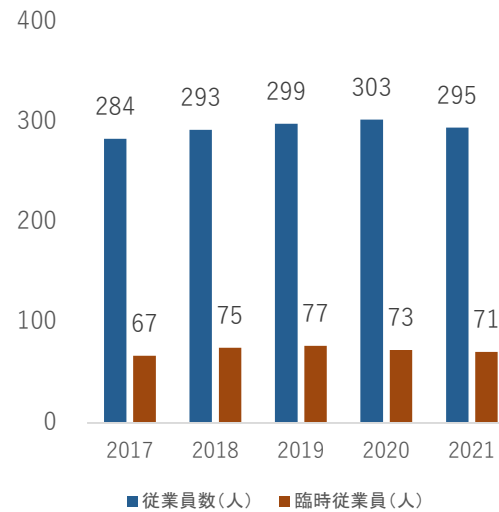
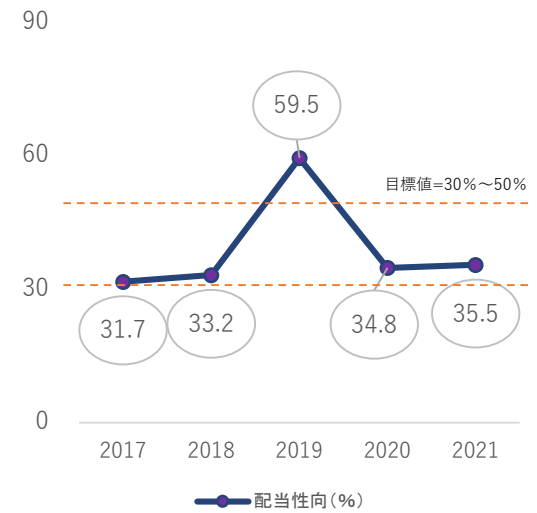
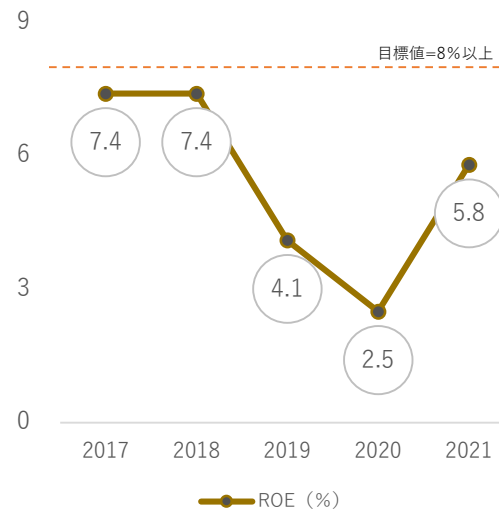
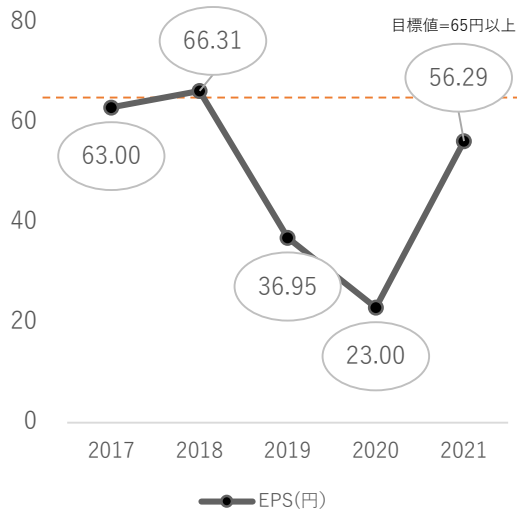
(単位：千円)	2023年3月期2Q(予測)		2023年3月期2Q(実績)		対予測比	2023年3月期(予測)		対通期比
	金額	売上比	金額	売上比	達成率	金額	売上比	進捗率
売上高	5,000,000		5,300,906		106.0%	10,500,000		50.5%
売上原価	3,925,000	78.5%	4,021,577	75.9%	102.5%	8,000,000	76.2%	50.3%
販売費及び一般管理費	725,000	14.5%	737,436	13.9%	101.7%	1,500,000	14.3%	49.2%
営業利益	350,000	7.0%	541,892	10.2%	154.8%	1,000,000	9.5%	54.2%
経常利益	360,000	7.2%	571,854	10.8%	158.8%	1,040,000	9.9%	55.0%
当期純利益	250,000	5.0%	396,178	7.5%	158.5%	720,000	6.9%	55.0%

※2023年3月期の通期予想を修正しております。詳しくは2022年11月1日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

企業データ①

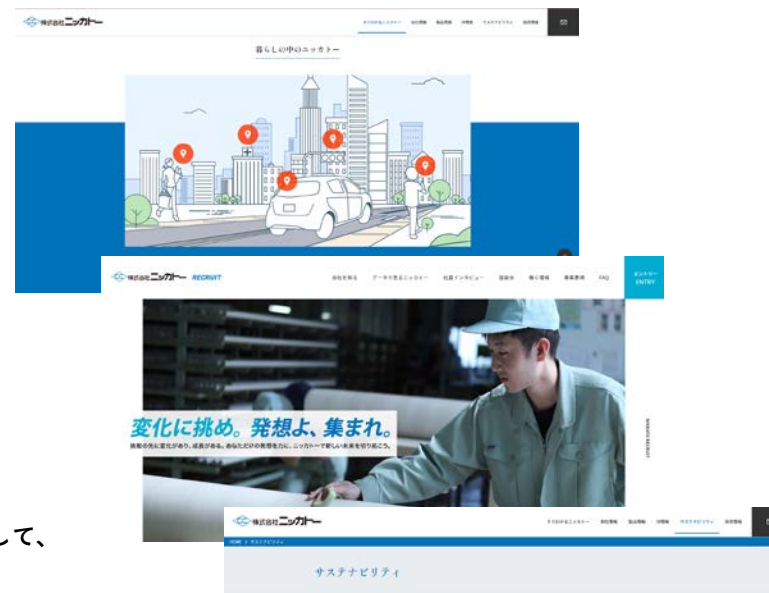
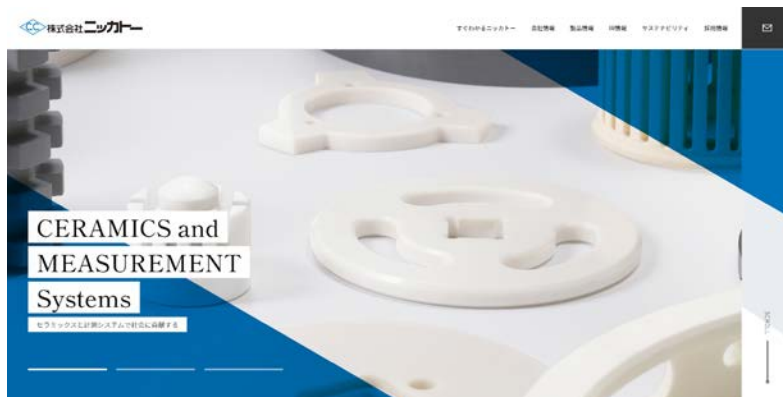


企業データ②



1. 中長期的な戦略について
2. 2023年3月期(第2Q)業績概要
3. 2023年3月期業績予想
4. 事業トピックス

事業トピックス(ホームページリニューアル)



この度、ホームページを全面的にリニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、より見やすく分かりやすいホームページを目指して、デザインやメニュー構成を見直し、新コンテンツも追加いたしました。

新コンテンツの一つである「すぐわかるニッカト」では、事業内容や製品がこういった場面で使用されているかなど、当社のことを簡単に知っていただけるよう分かりやすくまとめました。

また「サステナビリティ」では、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを推進するとともに、情報発信に努めてまいります。

すべてのコンテンツで、私たちのことをより深く知っていただけますように、また私たちの思いをしっかりとお届けできますようにとの願いを込めて、構成やデザインに工夫を重ねました。



いつでも閲覧いただけます。

今後は内容のさらなる充実を図り、これまで以上にステークホルダーの皆さまに有益な情報をお伝えできるように努めて参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

【当社ホームページ】

URL : <https://nikkato.co.jp/>



(注) 本資料に記載いたしております業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分にリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。